

校長室だより第 14 号（令和 7 年 6 月 19 日）

昨日（6 月 18 日）、若松小学校の体育館を会場として『第 5 2 回千葉市小学校表現運動発表会』が行われました。近隣の 3 校（若松・若松台・小倉小学校）が集い、各学校で一生懸命に練習してきた成果を披露しました。

本校代表の 4 年 3 組とつばさ学級の 4 年生 3 人は「ジャングルたんけん」を題材に、発表会に臨みました。

ここで時間を月曜日（6 月 16 日）に巻き戻します。

月曜日には、小倉小学校の体育館に全校が集い、壮行会が行われました。出場する 4 年 3 組とつばさ学級の 3 人を応援するためです。

バスケットボールの試合を見学するように、コート周りには発表者以外の 730 人と教師、合わせて 750 人が陣取りました。熱中症予防のために、窓は全開、扇風機も回しました。

そんな熱気でいっぱいの体育館で、750 人に見守られて、代表児童は演技を行いました。

私も担任時代に何回か表現運動発表会に参加したことがあります。実は本番よりも壮行会の方が緊張するのです。たくさんの人に注目されるため、練習では大きく動けていたのに小さな表現になってしまったり、コートの隅まで移動するはずだったのに行けなかったり、まるで見えない壁があるみたいでした。担任である私自身もものすごく緊張していたのを思い出します。私の緊張が子どもたちに伝わってしまったのでしょうか。

しかし、4 年 3 組とつばさ学級の子は違いました。750 人に注目されていようと臆することなく、堂々と体全体を使って演技をしていました。それは 6 つのグループ共にです。また、見学する子どもたちの態度もすばらしかったです。校長の話の中で、その 2 点を大いに褒めました。

さて、表現運動発表会当日に話を戻します。小倉小学校は「ジャングルたんけん」を題

材に、さらに 6 つのテーマ（①ウパウパ族がせめてくる ②バナナの取り合い ③宝物発見！喜びのダンス ④火山の大バクハツ！ ⑤たんけんたいとウパウパ族 ⑥巨大化する人食い花）に分かれて表現しました。各テーマとも「ジャングルたんけん」からイメージを広げていき、出来上がったものです。同じイメージを持った子ども同士がグループを作り、体を動かし、話し合い、互いの演技を見あってさらにステキな表現ができるように練習を重ね、発表会当日を迎えました。

750 人以上の見学者の前でもへっちゃらだった代表児童たちは、本番でも体を大きく使い、体育館いっぱい動き回って、「ジャングルたんけん」の様子や喜怒哀楽を表現することができました。